



2023 年度の笑顔を集めました。

Contents

- P2……全国知的障害福祉関係職員研究大会 山梨大会 研修報告
- P3……八ヶ岳発、こども食堂行き こどもサポートやまなしとのつながり
- P4.5…八ヶ岳名水会 2023 (春夏秋冬 活動紹介)
- P6……八ヶ岳名水会 商品ラインナップ

36

令和6年(2024)3月発行

令和5年11月15日・16日

全国知的障害福祉関係職員研究大会 山梨大会

研修報告

「大会への思い」

星の里 千野 貴史

全国知的障害福祉関係職員研究大会（以下全国大会）というものを御存知だろうか。日本知的障害者福祉協会が主催し、毎年各都道府県の知的障害者福祉協会が実行委員役を持ち回り開催される障害福祉に関わる最先端の知識や実践報告に触れることができる大会である。

その全国大会の山梨大会が令和5年11月15・16日の2日間にわたり、河口湖にあるハイランドリゾートホテル&スパで開催された。今回の全国大会のテーマは、「つむぐ、つなぐ」その先にあるもの」。

このテーマには、私達支援者の役割は、彼らを社会へつなぐ役割を担っているという所があり、それをする事によって、変化が生まれ、変化は関わるもの全てに現れる。社会に暮らす人々が巻き込まれ、社会が紡ぐように変わっていく一助にしたいという思いが込められている。そして、この思いを軸に全てが計画されていた。様々な講演、実践報告があった中で、実行委員達の「つむぐ、つなぐ」という思いが強く込められた講演について書きたいと思う。

それは、山梨県知的障害者支援協会の会長を20年以上も務め上げられてきた三富福祉会理事長の山西孝さんが登壇した講演である。内容は、日本の、そして山梨の障害福祉、入所施設の歩みを伝えるものであった。障害者福祉制度が整っていない時代に障害がある方でも

個人の人として捉え、これまで支え、向き合い続けつむいだ歴史をこれからの障害福祉を担う人達につなげる、そういう思いが感じられる講演であり、それは実行委員が日々強く感じている思いでもあった。

当時の働き方、支援の仕方を現代にそのまま持ち込むことはできない。上手く割り切り、効率的に支援を行って出せる成果も大切である。しかし、割り切った先には落としてしまう物もある。答えを簡単に出来るものではないが、様々な価値観、考え、働き方が受け入れられる時代の中で様々な向き合い方があっていい。ただこれからも先人達が向き合い続けつむぎ、つないでくれな糸にまた新たな歴史がつむがれ、つながっていくことを願う。

そして最後に、多くの山梨県の障害福祉関係者が実行委員、裏方として集まり全国大会を大成へと導いた。あの一体感を感じ、また新たな歴史をつむぎ、つないでいけると期待せずにはいられないのである。

「大会に参加して」

星の里兼のはら楽団 渡邊 隆

大会開始早々に驚いた事がありました。何と私が20代の時に勤めていた神奈川県の入所施設の施設長（現理事長）と偶然に再会する事ができました（私は以前、神奈川県に住んでいました）。お互いに驚きました。当時、その施設長から「職員は仲間」と一番先にご指導いただきました。その後、地域との関わり大切さ・利用者や職員との関わり方等沢山の事を教えて頂きました。今大会でも職員の事を「仲間」と呼ぶ講師の方がいました。私も同感でその「仲間」という言葉は今でも日々、大切に思っています。

1日目、事例発表を通して人は横へ横へ成長する。また、問題解決を目指す事も大切ですが、つながり続ける伴走型支援とのお話がありました。入所施設ではなかなかハードルが高い支援とされます。しかし、通所施設の方で探求・実践をしていきたいと思いました。

2日目、各分科会に分かれての講義です。私は日中活動・支援施設の分科会に参加しました。午前は福祉分野の古き良き時代の話を聞きました。私も措置く支援費に移り変わる時期を経験しました。当時は右も左もわからなかった時期でした。支援というよりも利用者が安心安全で1日怪我なく過ごせるように先輩職員の支援を真似する事しかできませんでした。しかし、上記にある施設長の言葉は数年後になって少しずつ理解しました。支援費制度に移り変わり支援のあり方等に四苦八苦した覚えがあります。その中でやはり「仲間」の存在は非常に大きかったです。

時は令和になり近年の課題でもある働き方改革や人手不足です。しかし、個人的には人材育成の方が優先だと思っています。よく〇〇世代という言葉がありますが、世代により考え方や培ってきた経験が違います。人材育成を担当する職員は人生の経験値や支援方法等の引き出しが必要になります。原点に戻り法人内で人材育成について再検討も必要だと思いました。

また、この貴重な大会に当法人からは若手職員2名が参加しましたが、参加者を見ると中堅以上の職員が多く若い職員が少ない事に驚きました。このような大会で若い世代が中心に活躍できるような大会を是非作って欲しいと思いました。

最後に貴重な大会に参加させて頂きありがとうございました。

八ヶ岳発、子ども食堂行き

〜こどもサポートやまなしとのつながり〜

「そしてバトンは渡された」

のほら楽団 浅井 真



「寄り道して木村さんに野菜を届けて、そのまま御殿場に帰るね」。愛車のハイエースの窓が見えなくなるくらい、たくさん野菜や鬼塚さんの卵を積んで、笑顔で静岡に帰省される今関さんの姿を毎月農場で見送っていました。そんな今関さんから「今度一緒にこども食堂に行かない？」と誘っていただき、まだ現役だった春の陽ダンプ（2トン）に野菜を満載して、甲府へと向かったのが私の初めての配達でした。当時まだこどもサポートの事務所は無く、カトリック教会の講堂に運び込んだと記憶しています。木村さん他、スタッフの方が笑顔で迎えてくださり、今関さんと尾関さんと共に手際よく動かれるのを私も見よう見まねでお手伝いしました。スタッフの方は皆さん無償で働かれており、本当にやさしく柔らかな方ばかりで、「善人」とはこの人たちのことを言うんだな、と心が洗われる思いがしました。その後、成島さんと雨宮さんと教会の炊き出しのお手伝いにも行きました。今関さんは退職されましたが、この活動を絶やしてはならないと思い、引き継いでやらせていただいています。毎月第4木曜日は子ども食堂の日！農場の利用者さんが交代で手伝ってくれます。鬼塚養鶏・高橋ファーム、農業大学校、長坂ファーム、梶原農場、花輪真奈さんなど、多くの方から野菜やお米を提供して頂けるようになりました。今関さんから渡された大切なバトンをしっかりと握り、これから一生懸命に走り続けます。

「土のついた野菜に乾杯！」

こどもサポートやまなし 木村 輝三

毎月第4木曜日の夕暮れ、事務所の前に停まる一台の大型バン。新鮮な野菜、たまご、お米などがいっぱい積まれている。八ヶ岳名水会の皆さんが野菜を抱えて、にこやかに事務所に運び込む。土がついた採りたての真つ赤なニンジン、真つ白な大根、大きな玉ねぎ、水々しいレタス、トマト、青菜類等、四季折々の旬の野菜。事務所が一瞬にして八ヶ岳の畑に変身！「春の陽農場」にて自然栽培した大豆による、手作りの味噌や豆腐なども本当においしい。

お母さんに連れられた子どもたちが、持ちきれないほどの野菜を抱えて、「ありがとう」とにこやかに、手をふり乍ら帰っていく。場所は、教会からこどもサポートの事務所に変わったが、十数年続くこの光景。あるこどもの表現を借りれば、「赤い帽子のニンジンとトマト、キュウリ、ナスの絵の服を着たサンタさんが、毎月来る！」と。あるお母さんは、「町では買えない、土の香りや水々しい野菜を、こんなに頂いていいのかしら。友達にも分けてやろうか。今夜はこれで何を作ろうか。本当に助かるし、ありがたい」と。

様々な困難の中で生活している、弱く小さな子どもたちのために。ご恵贈くださっている八ヶ岳名水会様、鬼塚養鶏様、その他ご協力くださっているたくさんの方々に、心から感謝している。この無償の慈しみは、子どもたちに「一人ぼっちではない、支えてくれる人がいる」という、大きな希望と励ましになると確信している。皆様の汗にまみれた純朴なやさしさに勇気づけられ、私たちスタッフ一同もこどもたちに寄り添い、子どもたちから「おっちゃん」、「おばさん」と呼ばれ続けるように頑張りたい。

もたちから「おっちゃん」、「おばさん」と呼ばれ続けるように頑張りたい。

「おいしく食べてね」

鬼塚たまご農園 鬼塚 友子



私たちは平飼いの小さな養鶏場を営んでいます。栄養価の高い卵は、子どもからお年寄りまでがご飯、お弁当やお菓子にと毎日食べている食材です。それが美味しくて安全であることは普通に当たり前のこと。しかしエサや鶏の生活環境にこだわると、悲しいかな価格はどんどん上がってしまいます。

春の陽（のほら楽団）さんのご縁を頂いて出来るだけ毎月子ども食堂に卵を提供しているのは、私の目標であり喜びです。

子どもたちおいしく食べてくれているかな？

「卵は神様のお恵みです」。今はライフサポートセンターになっている山城教会のスプリリオ神父の言葉を時々思い出しながら、今月も春の陽（のほら楽団）さんに卵を託します。





ハロウィンみんなで仮装して長坂の商店街を歩きトリックオアトリートでお菓子をGET。「やったー!!」(キッズ)



障害者支援協会で開催したスポーツ大会に参加。久しぶりに体を動かしました。何が楽しみって、やっぱりお弁当。唐揚げ最高。(星の里)



10月7日、収穫祭をしました。美しい秋空の下、みんなで稲刈りをし、収穫の喜びを分かち合いました。(のはら)

ハロウィンパーティを楽しみました！仮装してお菓子を貰いに回りました♪皆で踊るダンスは楽しいが溢れます！毎年恒例の所長の仮装に皆でおなかを抱えて笑い！「はるなのひなのな」に笑い声が響いた瞬間でした♪



秋

ハケ岳名水会



選択制の旅行コースのひとつとして、4年ぶりに大型バスに乗り一泊旅行に行きました。旅行会社を通して、スムーズに段取られた大人数での旅行の楽しさ！夕食は大宴会で、乾杯やカラオケも出来ました。(のはら)

クリスマス会です♪皆ウキウキワクワク体育館に集まって、お菓子を貰い、カラオケ、ダンス♪サンタさんからケーキもプレゼントして貰いお腹も胸も一杯の楽しい時間でした、思い返せば良く笑った1年思い出沢山！(はるなの)



冬休み、朝来て宿題に向かう姿勢素晴らしい！！近くの神社に初詣に行きました。みんな上手にお参りできました。「良い年になりますように！」冬休み中は寒い中でしたが、みんなで元気にお散歩に出かけました。(キッズ)



星の里のクリスマス会。職員がサンタクロース♪みんなにプレゼントを配ります。普段会えないサンタクロースに大興奮な利用者さん。もらったプレゼントを大事そうに抱えています。みんなでケーキを食べて楽しかった。



冬



はるなの・のはらはら合同で、マリーゴールドの種まきをしました。大勢ながら、分業して、手際よく巻く事ができました。それぞれの事業所の畑で育て、秋に収穫したものを染料として使用します。(のはら)

田植えです！！手で植える人応援団みんなそれぞれできる事をします、大きな青い空にみんなの笑い声が響きわたり、種蒔きーズの太鼓と歌で盛り上がり幸せなリズムと笑い声がお米の苗に届いて美味しいお米になります！(はるなの)



春

「わぁ～きれい！」の音が聞こえ桜の下でおやつを食べて、お花見をしました。(キッズ)



外は満開の桜。毎月恒例のお楽しみ会。その月に誕生日の利用者さんをみんなでお祝いします。(星の里)

2 0 2 3

夏



今年も開催された演劇祭。練習を頑張りました。「さあ～行こう、行こう」のタイミング、みんな完璧！

夏祭り始まる前から「いつ?」「まだ?」の声がありました！夏祭り大盛り上がりで大成功☆スーパーボールに全集中！！(キッズ)



星の里夏祭り。コロナの影響で規模は小さいですが、星の里の館内に出店。輪投げや射撃で商品ゲット。太鼓のリズムで盆踊り。記念写真を撮って楽しかった。



コロナも明けたので、電車やバスにのってお出かけしました。駅ではステップの準備をしていただき、スムーズに乗車する事ができました。清里でソフトクリームをたべ、楽しい時間をすごしました。(のはら)



楽しい事大好き夏祭り！今年は小学校で行いました、はるなのひなのは大移動です、移動は大成功です。保護者の方も来てくれて、盆踊りも大きな輪を作って踊り、笑い！笑顔が溢れる時間、大満足の日でした！！(はるなの)



はるなの
ペイント

染物

豆腐 味噌
厚揚げ 黒米

八ヶ岳名水会 商品ラインナップ

商品のお問い合わせは
0551-32-0035(代表)まで



今年も味噌を
仕込みました



羊毛フェルト

瓶詰め
クッキー

紙すき

イベントへ
参加し販売



八ヶ岳名水会で
一緒に働きませんか？

ご興味のある方は
法人本部
0551-32-0035 まで



赤い羽根共同募金か
らお声がけいただき防
災倉庫として設置させ
ていただきました。収
納庫をキッズクラブひ
まわりとたけのこ
GUNGUN とともに非常
食等防災用品を入れて
います。ありがとうございました。

訃
報

原 昭勝 様

星の里施設 利用

令和五年八月十三日

御逝去

白井 和雄 様

ケアハウスランタン 利用

令和五年九月七日

御逝去

ホームページ

<http://www.y-meisui.or.jp>

メールアドレス

meisuiikai@y-meisui.or.jp

発行 社会福祉法人 八ヶ岳名水会 広報委員会

TEL.0551-32-0035